

### 住宅庭園設計図



#### (社)ランドスケープコンサルタンツ協会長賞 大学生の部 住宅庭園部門入選 茂木 小百合 南九州大学

主庭と前庭を廓で区分し、人に見せる空間とプライベートの空間を分けた。訪問者が気軽に訪れられる開放的な感じから、アプローチに門を造らず、主庭は部屋の一部と考え、住民が落ち着くよう配慮した。全体に黒色の石材を用いることにより、デザインのアクセントとなるようにした。

平成15年度実施の高等学校学習指導要領の教科「農業」の目標に倣って、造園分野の教育目標を表現すると、「造園の知識と技術を習得させ、造園の役割を理解させ、造園の充実に図る創造的、実践的な能力と態度を育てる」となるでしょう。この目標を達成するには、作庭、製図、デザイン等の実践的、体験的な学習の充実がなにより大切です。本年も、各学校で充実した造園デザインや作庭の実習が展開され、そこを通して生まれた、緻密で創造性に富んだ24点の高校生の作品が本コン

平成15年度実施の高等学校学習指導要領の教科「農業」の目標に倣って、造園分野の教育目標を表現すると、「造園の知識と技術を習得させ、造園の役割を理解させ、造園の充実に図る創造的、実践的な能力と態度を育てる」となるでしょう。この目標を達成するには、作庭、製図、デザイン等の実践的、体験的な学習の充実がなにより大切です。本年も、各学校で充実した造園デザインや作庭の実習が展開され、そこを通して生まれた、緻密で創造性に富んだ24点の高校生の作品が本コン

#### 佐野 明委員

その中で、加茂農林高校の若尾友之さんの「中山道太田宿旧小松屋庭園」は、周囲の自然環境を生かした風情のある茶庭に仕上げられ、プロ顔負けの庭になっていました。宇部西高校の有吉加陽子さんの作品は、水遊びの場、くつろげる斜面、散歩道などを配する、市民交流の拠点にしたいという創意図が実現されていました。

### 審査委員

- 委員長 油井 正昭 (千葉大学教授)
- 委員 佐野 明 (文部科学省初等中等教育局参事官付教科調査官)
- 成家 次男 (社)日本造園建設業協会技術施工委員長
- 細谷 恒夫 (社)ランドスケープコンサルタンツ協会参与
- 山本 紀久 (社)ランドスケープコンサルタンツ協会参与
- 佐藤 岳三 (社)日本造園建設業協会技術副委員長
- 小坂橋二三男 (全国高等学校造園教育研究協議会理事長)
- 西山 俊雄 (全国高等学校造園教育研究協議会副理事長)

### 講評

今年度の応募作品総数は357点であった。審査では、住宅庭園、街区公園、自由課題、作庭実習作品の4部門別に入選作品17点と佳作13点を選んだ。入選、佳作を受賞された皆さんには、心からお祝い申し上げます。

#### 油井 正昭委員長

今年度の応募作品総数は357点であった。審査では、住宅庭園、街区公園、自由課題、作庭実習作品の4部門別に入選作品17点と佳作13点を選んだ。入選、佳作を受賞された皆さんには、心からお祝い申し上げます。

# 造園ますます重要に

平成13年度第28回全国造園デザインコンクール審査は1月28日(金)、東京都立農業高等学校神代農場で行われた。応募総数は357点。一般、大学生、高校生各部の「住宅庭園」、「街区公園」、「自由課題」、さらに高校生に限り設けられている「作庭実習作品」の課題別に審査し、入選、佳作、奨学の3賞を定めた。次に、入選作品の中から総合的に最も優れた作品として「(社)日本造園建設業協会長賞」、全作品の中で、着眼、デザイン等の最も優れた作品として「(社)ランドスケープコンサルタンツ協会長賞」、また、高校生の部で最も優れた作品として「全国高等学校造園教育研究協議会長賞」を選んだ。さらに、最も指導力の優れた高等学校に対する「文部科学大臣奨励賞」を選出した。それぞれの入賞者並びに審査結果は別記の通り。

## 針葉・落葉の区別と周辺状況の記載に改善を



一般の部 住宅庭園部門入選 船坂 正広 (株)山久  
コンセプトは「マイガーデン」。斬新、奇抜といった発想からのアイデアではなく、素朴、繊細、いかに住まう人が楽しく、動きやすく、使いやすい空間をシミュレーション、プレゼントできるかを今回一番に考えて、デザインした。

我がが21世紀初頭に解決しなければならぬ課題があります。その中で特に環境、高齢化と循環型社会の構築が緊急課題です。私達は様々な負の遺産を残してしまいました。造園デザインは社会性が求められるべきです。このような視点で今回は審査しました。

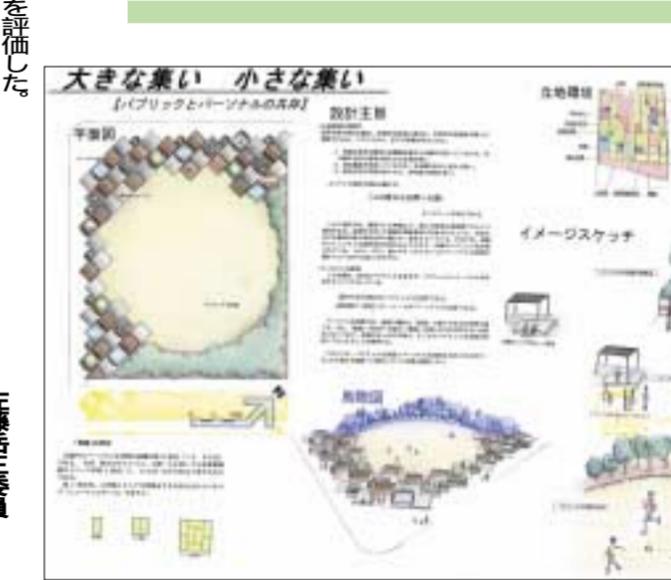
全般的に技術の向上が伺えますが、計画条件が図面の中にもっと反映されていることが必要です。庭園部門は日本の伝統的な作品が多かったことが気になりましたが、将来の設計者として育つことが楽しみな作品があり、生活感に欠かせない「作図力」の高

#### 細谷 恒夫委員

本コンクールのように、「一枚の設計図」で自分の考えを相手に伝えるためには、第一に「主題を明確にする」、第二に「解り易く表現すること」が要点となる。今回の傾向と課題は次のとおり。

#### 山本 紀久委員

が出るのもっと素晴らしいと思いましたが、街区公園はプロセスが重要です。最も身近な公共施設として住民参加を前提にした設計システムの積極的な提案があっても良いのではと思います。



#### 佐藤岳三委員

課題「水」の扱いは大切で難しい。水源、水面の形と周辺の地形、護岸のタイプ、水辺の植物、管理の前提などを考えるべき。もの、の意味の理解(思考)と目線の重要さ

昨年少しばかり辛口の評を書かせてもらった。デザインするべきもの、の意味の理解(思考)と目線の重要さ

大学生の部 街区公園部門入選 佐近 洋美 東京農業大学短期大学  
計画住宅用地に囲まれ、他に総合公園等の多機能を備えた公園が点在、人通りが多いことなどに配慮、「人が集まる空間=広場」をテーマとするものの、個々の時間を重要視する傾向もあり、パブリックとパーソナルが共存するつくりとした。

大学生の部 住宅庭園部門入選 永原 弘美 テクノ・ホリテイ園芸専門学校  
ビオトープの要素を盛り込んだ自然風の庭。実のなる木や宿根草複層のボーダーガーデン、水場とそこからの流れ、ひょうたん池、これらが作り出すさまざまな環境が、小さな生き物たちに住み家や食事を提供する。